Research Institute of Innovative Technology for the Earth

同時資料配布先：
学研都市記者クラブ
経済産業記者会

2019 年 1 月 11 日

公益財団法人地球環境産業技術研究機構

# 平成 30 年度 ALPS 国際シンポジウム
# ―経済成長と長期大幅排出削減の両立に向けた挑戦―
# 開催のご案内

2015 年 12 月の気候変動枠組条約の第 21 回締約国会議（COP21）においてパリ協定が合意され、2016 年 11 月に発効しました。世界の大多数の国が 2020 年以降の自国の温室効果ガス排出削減目標等を Nationally Determined Contributions (NDCs)として提出し、世界のほぼすべての国が排出削減に取り組む新たな国際枠組みができました。2018 年 10 月には、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の「1.5℃特別報告書」が公表され、そして 2018 年 12 月の COP24 では、パリ協定実施のための詳細ルールの基本的な合意をみました。また、長期的な温室効果ガス低排出型の発展を目指した「長期低排出発展戦略」の国連への提出期限（2020 年）が迫ってきていることもあり、2050 年以降の長期にわたる温暖化対策やグリーン成長に関する議論が国内外で活発になってきています。

RITE では、経済産業省の委託事業として「地球温暖化対策技術の分析・評価に関する国際連携事業」（通称 ALPS: ALternative Pathways toward Sustainable development and climate stabilization）を実施しています。この研究事業では、グリーン成長に資する国際枠組み、国際戦略立案に資する研究を進めており、その中で、パリ協定の実効性を高めるためのレビュー方法の検討や、温室効果ガス排出削減を中心とする温暖化緩和策および適応策の評価、またこれらをどう組み合わせて長期の気候変動リスクに対応するか、について検討を行ってきています。更には、昨今の IoT の進展や、それに伴うシェアリングエコノミーなどは、エネルギー需要サイドの革新につながり、効用（サービス需要）を下げずにエネルギー需要量を低減できる大きな社会的な変化の可能性も含んでおり、そのような将来的な低需要シナリオの検討や適切なファイナンスも含めたグリーン成長の検討などにも取り組んできています。そして、地球温暖化問題研究で世界的に著名なオーストリアの国際応用システム分析研究所（IIASA: International Institute for Applied Systems Analysis）、米国の未来資源研究所（RFF: Resources for the Future）、国際エネルギー機関（IEA）をはじめ、世界の研究機関とも協力しながら研究を進めています。

このたび、様々な気候変動のリスクを認識しつつ、経済成長と長期大幅排出削減の両立に向けた方向性を探るため、また本研究事業の成果報告会を兼ねて平成 30 年度 ALPS 国際シンポジウムを開催します。本シンポジウムでは、この分野で活躍している国内外の著名な専門家をお招きし、ご講演頂きます。地球温暖化を抑制して持続可能な社会を実現するために必要な政策について、幅広い方々が最新の研究成果をもとに深く考えられる機会にしたいと考えますので多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

Research Institute of Innovative Technology for the Earth

1. 開催概要

主　催：　公益財団法人 地球環境産業技術研究機構（RITE）

日　時：　平成３１年２月１９日（火）　１０：００－１７：４０

会　場：　虎ノ門ヒルズフォーラム　メインホール

（東京都港区虎ノ門 1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー５階）

プログラム：

| | | |
|---|---|---|
| 10:00 | 開会挨拶 | 茅 陽一　公益財団法人　地球環境産業技術研究機構　理事長 |
| 10:05 | 来賓挨拶 | 経済産業省　産業技術環境局 |
| 10:10 | 講演 | 山地　憲治　公益財団法人 地球環境産業技術研究機構　理事・研究所長<br>国内外の政策動向と $CO_2$ 大幅削減への長期戦略シナリオ |
| 10:40 | 講演 | ネボーシャ・ナキシェノビッチ　国際応用システム分析研究所（IIASA）　副所長<br>ネットゼロ排出に向けた破壊的技術と持続可能なライフスタイル |
| 11:20 | 講演 | スティーブン・ローズ 米電力研究所　エネルギー・環境分析研究グループ<br>上級リサーチエコノミスト・技術エグゼクティブ<br>企業における気候政策リスクの評価<br>–企業、投資家などのための科学的基盤– |
| 12:00 | 休憩 | |
| 13:15 | 講演 | ヤスミン・アルサレーン　国際エネルギー機関（IEA）　世界エネルギー展望<br>シニアエネルギーアナリスト<br>世界エネルギー展望 2018 からの電力の遷移に関する洞察 |
| 13:55 | 講演 | 野村　浩二　慶應義塾大学　産業研究所　教授<br>エネルギー生産性改善の黄金期は再び訪れるか？ |
| 14:35 | 講演 | 杉山　大志　キヤノングローバル戦略研究所　上席研究員<br>汎用目的技術と地球温暖化 |
| 15:15 | | |
| 15:35 | 講演 | ヤリ・カウピラ　国際経済開発協力機構（OECD）　国際交通フォーラム<br>統計・モデリング部門長<br>（講演タイトル未定） |
| 16:15 | 講演 | アーノルフ・グリューブラー　国際応用システム分析研究所（IIASA）<br>新技術移行プログラムディレクター<br>持続可能な開発と大幅脱炭素化のための代替的戦略<br>–エンドユース、効率、粒度、デジタル化への新たな注目– |
| 16:55 | 講演 | 秋元 圭吾　公益財団法人　地球環境産業技術研究機構　システム研究グループ<br>グループリーダー<br>製品、サービス、社会システムのイノベーションと温暖化対策への影響 |
| 17:35 | 閉会挨拶 | 本庄 孝志　公益財団法人　地球環境産業技術研究機構　専務理事 |

Research Institute of Innovative Technology for the Earth

2.　プレス登録

取材を希望される報道関係者の方も、事前に参加申込み下さいますようお願いします。やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい。


本件に関するお問合せ先

・シンポジウム内容・参加登録に関するお問合せ先
　システム研究グループ
　TEL：0774-75-2304　　FAX：0774-75-2317

・広報に関するお問い合わせ先
　企画調査グループ　広報・産業連携チーム　中村、辰巳
　TEL：0774-75-2301　　FAX：0774-2-75-2314　E-mail:　pub_rite@rite.or.jp

平成 30 年度　ALPS 国際シンポジウム

# 経済成長と長期大幅排出削減の両立に向けた挑戦

FY2018 ALPS International Symposium

— Challenges to harmonized achievement of economic growth and long-term deep emissions reduction —

**平成 31 年 2 月 19 日(火) 10:00 ～ 17:40 (受付開始 9:30)**

**虎ノ門ヒルズフォーラム　メインホール**

**(東京都港区虎ノ門 1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー 5 階)**

同時通訳あり
**参加料無料**

主催：公益財団法人 地球環境産業技術研究機構(RITE)　共催：経済産業省

RITE
Research Institute of Innovative Technology for the Earth

## 会場ご案内

**虎ノ門ヒルズフォーラム メインホール**

〒105-6305　東京都港区虎ノ門 1-23-3
虎ノ門ヒルズ森タワー 5 階

■東京メトロ　銀座線「虎ノ門駅」1 番出口 徒歩約 5 分
■東京メトロ　日比谷線「神谷町駅」3 番出口 徒歩約 6 分
■東京メトロ　千代田線　丸ノ内線　日比谷線
「霞ヶ関駅」A12 番出口 徒歩 約 8 分
■都営地下鉄　三田線「内幸町駅」A3 出口 徒歩 約 8 分
■銀座線　浅草線　ゆりかもめ
山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線
JR「新橋駅」烏森口出口 徒歩約 11 分

## お申し込み・お問い合わせ


公益財団法人
**地球環境産業技術研究機構**
**システム研究グループ**
〒619-0292　京都府木津川市木津川台 9-2
TEL：0774-75-2304　FAX：0774-75-2317
http://www.rite.or.jp/system/


http://www.rite.or.jp

## ごあいさつ

2015 年 12 月の気候変動枠組条約の第 21 回締約国会議(COP21)においてパリ協定が合意され、2016 年 11 月に発効しました。世界の大多数の国が 2020 年以降の自国の温室効果ガス排出削減目標等を Nationally Determined Contributions (NDCs) として提出し、世界のほぼすべての国が排出削減に取り組む新たな国際枠組みができました。2018 年 10 月には、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の「1.5℃特別報告書」が公表され、そして 2018 年 12 月の COP24 では、パリ協定実施のための詳細ルールの基本的な合意をみました。また、長期的な温室効果ガス低排出型の発展を目指した「長期低排出発展戦略」の国連への提出期限 (2020 年) が迫ってきていることもあり、2050 年以降の長期にわたる温暖化対策やグリーン成長に関する議論が国内外で活発になってきています。

RITE では、経済産業省の委託事業として「地球温暖化対策技術の分析・評価に関する国際連携事業」(通称 ALPS: ALternative Pathways toward Sustainable development and climate stabilization) を実施しています。この研究事業では、グリーン成長に資する国際枠組み、国際戦略立案に資する研究を進めており、その中で、パリ協定の実効性を高めるためのレビュー方法の検討や、温室効果ガス排出削減を中心とする温暖化緩和策および適応策の評価、またこれらをどう組み合わせて長期の気候変動リスクに対応するか、について検討を行ってきています。更には、昨今の IoT の進展や、それに伴うシェアリングエコノミーなどは、エネルギー需要サイドの革新につながり、効用(サービス需要)を下げずにエネルギー需要量を低減できる大きな社会的な変化の可能性も含んでおり、そのような将来的な低需要シナリオの検討や適切なファイナンスも含めたグリーン成長の検討などにも取り組んできています。そして、地球温暖化問題研究で世界的に著名なオーストリアの国際応用システム分析研究所 (IIASA: International Institute for Applied Systems Analysis)、米国の未来資源研究所(RFF: Resources for the Future)、国際エネルギー機関(IEA)をはじめ、世界の研究機関とも協力しながら研究を進めています。

このたび、様々な気候変動のリスクを認識しつつ、経済成長と長期大幅排出削減の両立に向けた方向性を探るため、また本研究事業の成果報告会を兼ねて平成 30 年度 ALPS 国際シンポジウムを開催します。本シンポジウムでは、この分野で活躍している国内外の著名な専門家をお招きし、ご講演頂きます。地球温暖化を抑制して持続可能な社会を実現するために必要な政策について、幅広い方々が最新の研究成果をもとに深く考えられる機会にしたいと考えますので多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

(公財)地球環境産業技術研究機構　**山地　憲治**

平成 30 年度　ALPS 国際シンポジウム　定員300名

# 経済成長と長期大幅排出削減の両立に向けた挑戦

**平成 31 年 2 月 19 日(火) 10:00 ～ 17:40 (受付開始 9:30)**

**虎ノ門ヒルズフォーラム メインホール**(東京都港区虎ノ門 1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー 5 階)

主催：公益財団法人 地球環境産業技術研究機構(RITE)　共催：経済産業省

同時通訳あり
**参加料無料**

## プログラム

**10:00　開会挨拶**　茅 陽一　公益財団法人 地球環境産業技術研究機構　理事長

**10:05　来賓挨拶**　経済産業省　産業技術環境局

**10:10　講　演**　山地 憲治　公益財団法人 地球環境産業技術研究機構　理事・研究所長
**国内外の政策動向と $CO_2$ 大幅削減への長期戦略シナリオ**
Kenji Yamaji, Director-General, RITE
Policy trends of Japan and the world, and scenarios of long-range strategy for deep $CO_2$ emissions reduction

**10:40　講　演**　ネボーシャ・ナキシェノビッチ　国際応用システム分析研究所　副所長
**ネットゼロ排出に向けた破壊的技術と持続可能なライフスタイル**
Nebojsa Nakicenovic, Deputy Director General/Deputy Chief Executive Officer, International Institute for Applied Systems Analysis (IIASA)
Disruptive technologies and sustainable lifestyles toward net-zero emissions

**11:20　講　演**　スティーブン・ローズ
米電力研究所 エネルギー・環境分析研究グループ 上級リサーチエコノミスト・技術エグゼクティブ
**企業における気候政策リスクの評価 ―企業、投資家などのための科学的基盤―**
Steven Rose, Senior Research Economist & Technical Executive, Energy and Environmental Analysis Research Group, Electric Power Research Institute (EPRI)
Assessing company climate policy risk — a scientific foundation for companies, investors, and others —

**12:00　休　憩**

**13:15　講　演**　ヤスミン・アルサレーン　国際エネルギー機関 世界エネルギー展望 シニアエネルギーアナリスト
**世界エネルギー展望2018からの電力の遷移に関する洞察**
Yasmine Arsalane, Senior Energy Analyst, World Energy Outlook, International Energy Agency (IEA)
Insights on electricity transitions from the World Energy Outlook 2018

**13:55　講　演**　野村 浩二　慶應義塾大学 産業研究所　教授
**エネルギー生産性改善の黄金期は再び訪れるか?**
Koji Nomura, Professor, Keio Economic Observatory, Keio University
Are we entering a new golden age of energy productivity improvement?

**14:35　講　演**　杉山 大志　キヤノングローバル戦略研究所　上席研究員
**汎用目的技術と地球温暖化**
Taishi Sugiyama, Senior Research Fellow, The Canon Institute for Global Studies
General purpose technology and global warming

**15:15　休　憩**

**15:35　講　演**　ヤリ・カウピラ　国際経済開発協力機構 国際交通フォーラム 統計・モデリング部門長
**(講演タイトル未定)**
Jari Kauppila, Head of Statistics and Modelling, International Transport Forum, Organisation for Economic Co-operation and Development (OECD)
(To be determined)

**16:15　講　演**　アーノルフ・グリューブラー　国際応用システム分析研究所 新技術移行プログラムディレクター
**持続可能な開発と大幅脱炭素化のための代替的戦略**
**―エンドユース、効率、粒度、デジタル化への新たな注目―**
Arnulf Grübler, Acting Program Director, Transitions to New Technologies, International Institute for Applied Systems Analysis (IIASA)
Alternative strategies for sustainable development and deep decarbonization
— Renewed focus on end-use, efficiency, granularity, and digitalization —

**16:55　講　演**　秋元 圭吾　公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ グループリーダー
**製品、サービス、社会システムのイノベーションと温暖化対策への影響**
Keigo Akimoto, Group Leader of Systems Analysis Group, RITE
Innovations of products, services and social systems, and their impacts on climate change mitigation measures

**17:35　閉会挨拶**　本庄 孝志　公益財団法人 地球環境産業技術研究機構　専務理事

**参加ご案内**

2 月 12 日(火)までに同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAX でお申し込みください。当日は FAX された申込書を受付にご提出ください。
※定員(300 名)になり次第、締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。
ご提供いただいた個人情報は、今後当機構の関係するイベント等のご案内のために利用させていただくことがあります。ご不要の方は、その旨をお知らせください。

FAX:0774-75-2317

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構（RITE）
システム研究グループ 行

## 平成30年度 ALPS国際シンポジウム
# 経済成長と長期大幅排出削減の両立に向けた挑戦

## ＦＡＸ参加申込書

この用紙に必要事項をご記入の上、**2月12日**（火）までにFAXでお申込みください。
申込書の受領をもって受付完了とさせて頂きます。
当日はこのFAX申込書を受付にご提出ください。

日　　時：平成31年2月19日（火）10:00～17：40（受付開始9:30）
場　　所：虎ノ門ヒルズフォーラム　メインホール（東京都港区虎ノ門1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー5階）
アクセス方法：東京メトロ「虎ノ門駅」1番出口 徒歩約5分／東京メトロ「神谷町駅」3番出口 徒歩約6分／
東京メトロ「霞ヶ関駅」A12出口 徒歩約8分／都営地下鉄「内幸町駅」A3出口 徒歩約8分／
JR「新橋駅」 烏森口 徒歩約11分

| | | | |
|---|---|---|---|
| ご　氏　名 | フリガナ | E-mail アドレス | |
| ご所属機関 | フリガナ | | |
| ご所属部署 | | お役職 | |
| 所　在　地（ご住所） | （〒　　－　　） | 電話番号 | |

※出席希望者多数の場合は先着順となりますので、あらかじめご了承ください。
※申込用紙一枚につき、お一人のお申込でお願いします。（複数名ご出席の場合は、お手数ですが本用紙のコピーをお使いください。）
※ご提供いただいた個人情報は、参加者名簿の作成、RITEのイベント情報等のご案内のために利用させていただくことがあります。

**シンポジウム当日は会場受付まで本申込書をお持ちください。**

お申込み・お問合せ先
公益財団法人 地球環境産業技術研究機構（RITE） システム研究グループ
TEL 0774-75-2304　FAX 0774-75-2317　www.rite.or.jp

通信欄

☐ 今回の国際シンポジウムには参加しないが、所属・住所変更あり

・ご氏名

・ご所属機関

・ご所属部署・役職

・ご住所　〒

☐ 今後、案内状の送付は不要　☐ その他（　　）